

横山幸次

区政報告
ニュース

425

2011年6月5日
発行 日本共産党区議団
3802-4627
fax3806-9246
✉ arajcp@tcn-cat
v.ne.jp
町屋相談室
荒川区町屋5-3-5
3895-0504
✉ yoko1951@aol.jp

横山幸次区議がブログをはじめました。「横山幸次のかけある記」にアクセスしてご覧下さい。

共産党区議団が福祉防災のまちづくり 自然エネルギー導入で区長に申し入れ



区長に申し入れる共産党区議団

日本共産党は、区議会議員選挙で福祉・防災優先の区政、原発依存から脱却して自然エネルギーへの転換を訴えてきました。選挙後、こつした公約をみなさんとともに実現する第一歩として区として思い切つて補正予算もつけて取り組むべき要望要求を5月26日に区長に申し入れを行いました。まず何といつても、区民

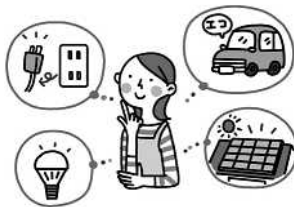
なぜ放射線監視装置は高いところに？ 生活場面での測定が必要では

いま福島原発の事故による放射能汚染への不安が広がっています。何よりも正確な情報が必要ですが、東京都の放射線監視装置（モニタリングポスト 右写真）は、新宿区にある一カ所です。それも高さ18mに設置。他県もほとんど10～20m。しかし専門家からは「高さをそろえる」「地表面1mが望ましい」などの声も出ています。すでに福島原発の事故で飛び散った放射性物質は、空気に乗って地表に降ってくるので、地表に近づけば放射線量も増えるはず。国、東京都だけでなく荒川区としても専門家の協力を得て測定を行い、区民に正確な情報を提供することこそ、安心を確保する第一歩と考えるのですが。



みなさんのご意見をお寄せ下さい。

の命を守ることを第一に、耐震補強工事補助事業の拡充、高齢者・障害者などへの「出前診断」や簡易耐震補強工事の支援、家具店転倒防止への支援などです。また新しい課題としては、区として放



射線量の測定地点をもうけて、区民に正確な情報提供を行うことを求めています。さらに原発ゼロへ「地域・自然エネルギーのまち」をめぐらし、太陽光発電の爆発的普及、エコ助成の抜本拡充など求めています。みなさんのご意見をお寄せ下さい。

裏面 新議会の構成と「緊急要求」内容など

定例法律相談

6月6日(月)
午後6時～8時
横山区議事務所

弁護士と横山区議が相談をお受けします。秘密は厳守します。お急ぎの場合は、北千住法律事務所の相談日などご紹介いたします。生活相談は、随時受け付けています。
TEL&FAX 3895-0504
不在時は、留守電へ、後で連絡します。
区役所控室 3802-4627

町屋4丁目のグリーンスポット用地に小さな花壇の直営部門をなくしても良いのでしょうか？

町屋4丁目旭電化通りの「原中入り口」バス停近くに区のグリーンスポット用地があります。空き地のままで「これからどうなるの？」などご質問もいただきます。そんな折、道路側に木製花壇が設置されバラが植えられていました。区にお聞きすると「グリーンスポット」の整備の日程はまだ決まっていないとのこと。そこで金網で囲っている空き地が殺風景ということであつて、区の公園緑地課の職員の手で直接作ったそうです。植えてあるバラは「バラの市」で売れ残ったものを利用したとのこと。ちよつとした花壇と植栽、その後の手入れなど区の直営ならではの仕事ではないでしょうか。

(横山幸次)



まちの話題あれこれ



区民に開かれた区議会をめざして 1年毎の議長のたらい回しなど改善を

荒川区議会 常任委員会と議会運営委員会

	総務企画	文教子育て	福祉区民生活	建設環境	議会運営
日本共産党 (6名)	小林行男	安部キヨ子 相馬堅一	斉藤邦子	横山幸次 小島和夫	小林行男 横山幸次
自民党 (13名)	茂木 弘 若林清子 並木一元 志村博司	菅谷元昭 斉藤泰紀 北条貞治	竹内捷美 服部敏夫 鳥飼秀夫	明戸真弓美 小坂眞三 守屋 誠	竹内捷美 小坂眞三 北条貞治 志村博司
公明党 (6名)	菊池秀信 中村尚郎	吉田詠子	松田智子 萩野 勝	保坂正仁	中村尚郎 萩野 勝
民主市民の会 (3名)	瀬野喜代	竹内明浩	清水浩史		竹内明浩 清水浩史
元気クラブ(1名)		斉藤裕子			
創新党(1名)			小坂英二		
正論の会(1名)				浅川喜文	
改革の会(1名)				藤沢志光	

5月27日開会の臨時区議会で各委員会の構成と議長・副議長・議会選出監査委員の選出が行なわれました。

横山幸次区議は、建設環境委員会、議会運営委員会、震災対策調査特別委員会に所属することになりました。とくに東日本大震災の救援復興、福島原発事故の収束とともに、荒川区の「防災のまちづくり」を進める中心的議論を行う委員会となります。「いのちとくらしを守る荒川区政」にむけて全力でがんばります。

荒川区議会 特別委員会

	震災対策 調査特別委員会	健康・危機管理対 策調査特別委員会	観光文化推進 調査特別委員会
日本共産党	安部キヨ子 横山幸次	相馬堅一 小島和男	小林行男 斉藤邦子
自民党	服部敏夫 並木一元 斉藤泰紀 守屋 誠 鳥飼秀夫	菅谷元昭 若林清子 小坂眞三 志村博司	明戸真弓美 茂木 弘 竹内捷美 北条貞治
公明党	菊池秀信 萩野 勝	吉田詠子 保坂正仁	松田智子 中村尚郎
民主市民の会	竹内明浩	瀬野喜代	清水浩史
元気クラブ	斉藤裕子		
創新党		小坂英二	
正論の会			浅川喜文
改革の会		藤沢志光	

(◎委員長 ○副委員長 △理事)

区議会を代表する議長は、第一党から全会派が一致できる人を選出する努力をすべきです。これまで第一党の自民党は、基本的に1年交替で議長の順送り(たらい回し)です。私たちは、区民の理解も得られないこうしたやり方に反対してきました。また副議長、議会選出監査委員については、第2党の共産党も当然入れた形で民主的な選出のルールを作るべきですが、副議長は公明党、監査は自民党と与党が独占する形になっています。監査委員などは、臨時会に突然区長から同意案件として議案が出されます。

日本共産党は民主的で公正なルールをつくるべきだと繰り返し提案してきました。今後とも区民に開かれた議会の改革にむけて力を尽くします。



区民のいのちと財産を守り 自然エネルギー導入にむけた緊急要求

- (1)区内に避難している被災者の救援対策として、登録制度を徹底するとともに生活支援、情報提供などさらに強化すること。
- (2)区内の大震災による建物被害について調査を行い、経済的理由で修繕できないままになっている家屋について区として支援を行うこと。
- (3)地震による建物被害にも対応する「リフォーム助成制度」を実施すること。
- (4)大地震による家屋の倒壊から人命を守るために経済的理由でなど利用が進まない耐震補強工事補助制度の条件緩和、補助率・補助額を抜本的に引き上げるなど耐震化を促進すること。
自ら耐震措置を講じることの出来ない高齢者、障害者など災害弱者の住宅について「出前診断」を行い緊急に簡易な耐震補強工事も含めて支援すること。
- (5)家具転倒防止への支援制度を直ちにつくること。高齢者、障害者など自ら設置することが出来ない世帯へは、区が直接支援すること。
- (6)高層マンションの長周期振動・横揺れ対策と備蓄支援



- を行うこと。
- (7)区内に放射線量の測定地点をもうけ、区民に正確な情報提供を行うこと。
 - (8)区として一般財源を投入して国民健康保険料の値上げを止めること。
 - (9)困難に直面している区内業者の事業継続のため緊急特別融資、緊急生活資金などを実施すること。
 - (10)原発ゼロに向け「地域・自然エネルギーのまち...荒川区」をめざして

原発からの脱却に向け、区民の協力を得ながら、民間住宅に太陽光発電を1万戸普及、公共施設や大規模事業所などの電力を100%自前の自然エネルギーで充足させるなど地域システムの構築をめざすこと。

補助金増額をはじめエコ助成制度の抜本拡充を行うこと。東京都など公的機関、公共交通機関、民間事業者関係施設での自然エネルギー導入を働きかけること。(三河島水処理センター、JR貨物ヤード、JR・私鉄各駅の屋根、荒川遊園、都電、東京ガス・旭電化本社ビルなど)

今後建設予定の複合施設、尾久八幡中など各施設に自然エネルギーの導入や災害時の活用など設計のあり方を今日的に見直すこと。

